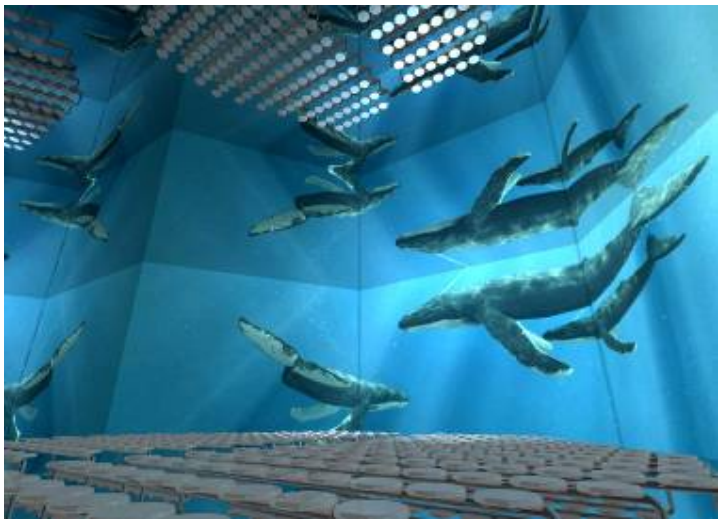
北九州テレビInternet TV NEWS
http://www.kitakyu.tv DIGEST
お問合せ：info@kitakyu.tv
©北九州テレビ 2006

２００６．７．８第　26号

ハウステンボスに新施設、7/22 オープン

「ハウステンボス ＩＦＸシアターＫｉｒａｒａ(キララ)」

―ハウステンボスにお目見え―



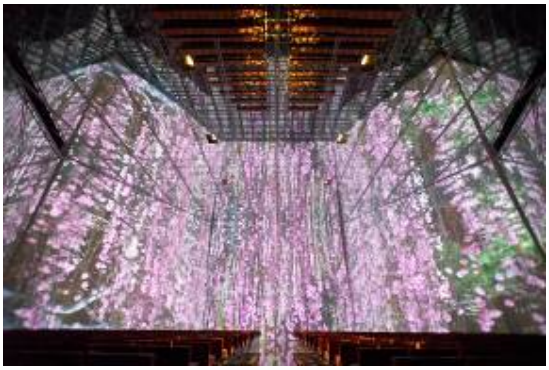
ＩＦＸシアター「Ｋｉｒａｒａ(キララ)」：地球環境の維持の大切さ訴える

（写真提供　Ⓒハウステンボス/J－9463）

ハウステンボス(長崎県　東園基宏(ひがしそのもとひろ)代表)では、2007 年３月２５日に 15 周年を迎えるにあたり、ファミリーゾーンであるニュースタッド地区に新アミューズメント施設である「ハウステンボスＩＦＸシアターＫｉｒａｒａ(キララ)」をはじめ、6 ヶ月の 0 歳児から遊べる屋内型プレイエリアや、特殊な装飾によって創り出される鏡の迷路など新設し、約１５億円かけて７月２２日にリニューアルオープンする。

そのメインとして、大スクリーンに天井、壁、床のミラー効果を加えた「Ｋｉｒａｒａ(キララ)」では、愛・地球博で人気のあった「三菱未来館@earth ～もしも月がなかったら～」をメインショーに、ハウステンボスオリジナルショーを加えた映像により、クライマックスでは体が宙に浮いているような体験ができるなど、子供から大人までが楽しめるシアターとなる。

また、同社では、今回上映する“もしも月がなかったら”に関して「当社は、自然環境をよみがえらせ、環境保全に配慮した街づくりを進めているが、この物語は、映像の美しさに加え地球環境を維持することの大切さを表現し、当社が追求するテーマである“自然との共生”に合致したものである」としてる。



クライマックスシーンでは、会場全体がスクリーンとなって、浮遊感を体感できる　(写真提供　ハウステンボス)

「もしも月がなかったら」とは、ニール・F・カミンズ(米国メイン大学 天文学・物理学部教授)氏原作によるもので、月の誕生から始まり、もしも月がなかった時の、地球の姿を映像化し月と地球の奇跡的バランスを感じると共に、地球環境の大切さを映像によって実感できるものとなっている。

ニュースタッド地区の「Ｋｉｒａｒａ(キララ)」外観

(写真提供　ハウステンボス)

なお、同社では今回のリニューアルによって昨年の７・８月の入場者より 10 万人増の４４万人の入場者数を見込んでいる。

※　ＩＦＸシアター：想像(Imagination)・無限(Infinity)・効果(FX＝Effects の造語)の３要素が三位一体となり、単なるシアターの枠を超え、無限大に広がる空間が体感できる（資料：ハウステンボス）